

OLYMPUS



2025年3月期 第2四半期 連結決算概況

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 会長兼 ESG オフィサー 竹内 康雄 | 執行役 CFO 泉 竜也 | 2024年11月8日

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

先般の代表執行役CEOの異動について

第2四半期連結業績

売上高

4,740 億円

+10% / **+3%**



ESD **+10%** / **+3%**



TSD **+10%** / **+3%**

調整後営業利益

851 億円

+186 億円

調整後営業利益率

17.9%

+2.5 pt

■ 前期比 円ベース為替込み
■ 前期比 為替影響調整後

- 1 北米は、消化器科、泌尿器科、呼吸器科の3つの注力領域全てで2桁成長。前期比+24%（為替影響調整後+15%）の成長を達成
- 2 販管費のコントロールなどが奏功し、調整後営業利益率は第2四半期累計で約18%、第2四半期で20%を達成
- 3 総合的な品質変革プログラム「Elevate」は、引き続き順調に進捗
- 4 米国を中心とした顧客からの底堅い需要と、引き続き不透明な中国の市場環境を踏まえ、期初から見通しを据え置き
- 5 米国・欧州におけるクラウド型AI医療機器¹の認可／認証取得、および米国におけるiTind¹の競争力のある保険償還率の設定は今後の成長を支えるものと期待

¹ 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

Elevateの主な進捗と見通し

現在

Elevateは引き続き順調に進捗

主な進捗



現在までにFDAに対するコミットメントの**95%以上が完了**



グローバルコンプレイントハンドリングプロセスの第1フェーズを完了



会津、日の出、八王子の拠点での**第三者による監査¹**を完了

¹ 外部コンサルタントによって実施される監査、独立した第三者による確認・検証およびFDA模擬監査

今後の計画

2026年3月期

FDAに対するコミットメントを果たす予定



Elevateの次のフェーズへ

2027年3月期以降

Elevateに関連する費用は減少。QARA組織の能力強化のため、一部は販管費に移管する見込み

クラウド型AI医療機器の認可／認証取得により、「インテリジェント内視鏡医療エコシステム」の実現へ前進

クラウド型AI内視鏡画像診断支援システムについて、1製品が米国FDA認可、3製品がEU MDR認証を取得

✓ 内視鏡検査における臨床成果と業務効率の向上に貢献する上で、重要なマイルストーン

✓ CAD搭載プラットフォームの商業化に向けて前進



CADDIE¹

大腸ポリープ用のクラウド型CADE²

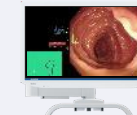
- 大腸ポリープなどが疑われる病変の検出を支援（便利な機能として、CADDIEポリープ検出機能がオンで使用されていることをユーザーが確認する「盲腸到達通知」AI機能を含む）

✓ 米国 FDA 認可取得

大腸ポリープ用のクラウド型CADE² およびCADx³

- 大腸ポリープなどが疑われる病変の検出と診断を支援（便利な機能として「盲腸到達通知」AI機能と「粘膜洗浄度」AI機能を搭載）

✓ EU MDR 認証取得



CADU¹

潜在的な異形成検出をサポートするクラウド型CADE²

- 内視鏡検査におけるバレット食道の異形成を検出することをサポート
- データをリアルタイムで分析

✓ EU MDR 認証取得



SMARTIBD¹

潰瘍性大腸炎分析用のクラウド型機器

- 大腸内視鏡検査における潰瘍性大腸炎の状態のスコアリングを支援
- 大腸内視鏡で撮影したビデオフレームを処理し、組織の分類に有用なリアルタイムのインサイトを提供

✓ EU MDR 認証取得



¹ 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております ² Computer Aided Detection（AIによる検出支援） ³ Computer Aided Diagnosis（AIによる診断支援）

インテリジェント内視鏡医療エコシステム の実現に向けたロードマップ

現在

主な進捗：

- ✓ ロードショー¹と製品のデモンストレーションでは、顧客から心強いフィードバックを獲得
- ✓ 欧州で6カ所の共創センターを設置
- ✓ クラウド型AI内視鏡システムのパイロットプログラムを欧州で実施

¹ 2024年2月から10月にかけて、スペインとドイツで、関心のある見込み顧客や共同開発者を対象に実施。今後もロードショーを継続します

今後の計画

- **2026年3月期第1四半期**
米国、EMEAの一部の国でAIソリューションの販売を開始予定
- **2026年3月期中**
EMEAの一部の国でインテリジェント内視鏡医療エコシステムの追加機能を販売予定

デジタル製品

CAD/AI

ワークフロー
管理

インサイト/
分析支援

資産管理

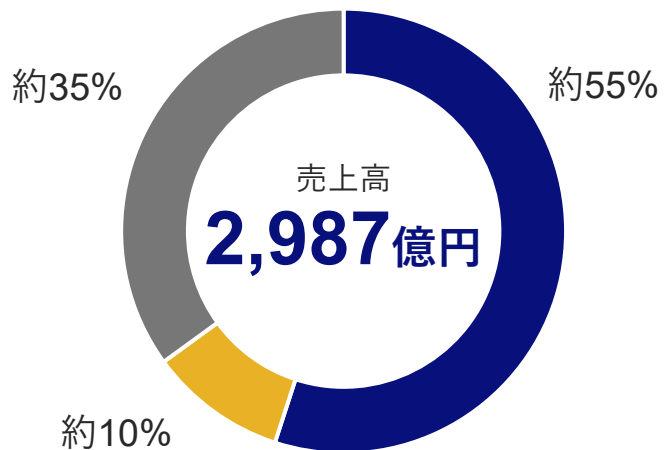
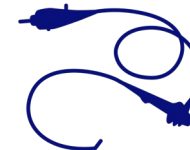
2025年3月期 第2四半期累計実績 連結業績概況

- 1 売上高：消化器内視鏡システム「EVIS X1」をはじめ、注力3領域で二桁成長を実現した北米が牽引。為替の追い風もあり、+10%成長
- 2 営業利益・調整後営業利益：前期に計上したVeran Medical Technologies社関連の損失の減少に加え、販管費のコントロールや為替の追い風もあり、大幅な営業増益。調整後営業利益率は累計で約18%（2Qで20%）を達成

	第2四半期累計実績（4-9月）					通期見通し（4-3月）	
	（単位：億円）	FY2024	FY2025	前期比	為替影響調整後	FY2025 通期見通し ※5月10日公表時より変更なし	進捗率
売上高	4,316	1 4,740	+10%	+3%	10,090	47%	
売上総利益 （売上総利益率）	2,852 (66.1%)	3,230 (68.1%)	+13% (+2.0%)	+3%	6,910 (68.5%)	47%	
販売費および一般管理費 （販売費および一般管理費率）	2,185 (50.6%)	2,379 (50.2%)	+9% (▲0.4%)	+3%	4,940 (49.0%)	48%	
その他の収益および費用など	▲630	▲145	-	-	▲210	-	
営業利益 （営業利益率）	38 (0.9%)	2 705 (14.9%)	+1,772% (+14.0%)	+1,368%	1,760 (17.4%)	40%	
調整後営業利益 （調整後営業利益率）	665 (15.4%)	851 (17.9%)	+28% (+2.5%)	+4%	1,975 (19.6%)	43%	
税引前利益 （税引前利益率）	▲21 (-)	688 (14.5%)	- (-)	-	1,700 (16.8%)	40%	
当期利益	2,167	490	▲77%	-	1,210	40%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,163	490	▲77%	-	1,210	40%	

¹「売上高」から「継続事業からの当期利益」までの数値は、継続事業の数値を記載

2025年3月期 第2四半期累計実績 内視鏡事業



(単位: 億円)	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	FY2025 通期見通し	進捗率
売上高	2,709	2,987	6,450	46%
営業利益	509	626	1,620	39%
その他の収益および費用	▲78	▲89	▲125	-
調整後営業利益	587	715	1,745	41%
営業利益率 (為替影響調整後)	18.8%	20.9% (18.2%)	25.1%	-
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	21.7%	23.9% (21.2%)	27.1%	-

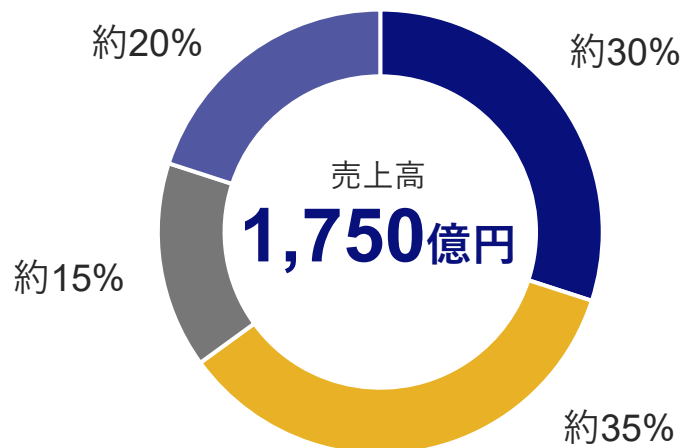
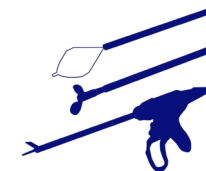
FY2025 vs FY2024 (4-9月) 売上高成長率

円ベース
為替込み

為替影響
調整後

■ 消化器内視鏡	9%	<ul style="list-style-type: none"> 消化器内視鏡システム「EVIS X1」の販売が好調な北米で+44%の成長。一方、反腐敗運動などの影響により中国で減収。「EVIS X1」シリーズの売上割合は、消化器内視鏡の中で約25% 	2%
■ 外科内視鏡	6%	<ul style="list-style-type: none"> 中国で減収の一方、欧州で増収。外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」などが堅調に推移した結果、為替の追い風もあり、プラス成長 	0%
■ 医療サービス	14%	<ul style="list-style-type: none"> 保守サービスを含む既存のサービス契約の安定的な売上加え、新規契約の増加もあり、欧州・北米を中心に全地域でプラス成長 	6%
合計	10%		3%

2025年3月期 第2四半期累計実績 治療機器事業



(単位: 億円)	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計
売上高	1,597	1,750
営業利益	▲285	268
その他の収益および費用	▲547	▲58
調整後営業利益	261	327
営業利益率 (為替影響調整後)	-	15.3% (13.8%)
調整後営業利益率 (為替影響調整後)	16.4%	18.7% (17.2%)

FY2025 通期見通し	進捗率
3,630	48%
545	49%
▲75	-
620	53%
15.0%	-
17.1%	-

FY2025 vs FY2024 (4-9月) 売上高成長率

円ベース
為替込み

為替影響
調整後

■ 消化器科処置具	10%	<ul style="list-style-type: none"> 北米や欧州を中心にプラス成長。肝胆膵疾患（内視鏡的逆行性胆道膵管造影術(ERCP)製品など）製品群などの売上が増加 	4%
■ 泌尿器科	14%	<ul style="list-style-type: none"> 北米や欧州を中心に好調に推移。尿路結石用破碎装置「SOLTIVE SuperPulsed Laser System」や前立腺肥大症(BPH)用の切除用電極の売上が増加 	6%
■ 呼吸器科	14%	<ul style="list-style-type: none"> 北米や欧州を中心にプラス成長。超音波気管支鏡ガイド下針生検(EBUS-TBNA)で主に使用される処置具や超音波気管支鏡が好調に推移 	6%
■ その他の治療領域 ¹	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> 他社製品の取り扱い終了の影響を受けた日本などで減収 	▲7%
合計 ¹	10%		3%

¹ 他社製品の取り扱い終了の影響を考慮した場合、その他治療領域の円ベースの成長率は+6%、為替影響調整後の成長率は0%。治療機器事業の円ベースの成長率は+11%、為替影響調整後の成長率は+4%

連結財政状態計算書

1 現預金の減少と為替影響（396億円）により、資産が減少

2 借入金の返済等により、社債および借入金が減少（9月末時点の残高：2,455億円）

(単位：億円)	2024年3月末	2024年9月末	増減額		2024年3月末	2024年9月末	増減額
流動資産	8,003	6,571	▲1,433	流動負債	4,317	4,196	▲121
現金及び現金同等物	3,409	2,459	▲951	社債および借入金	700	1,149	2 ▲449
棚卸資産	1,900	1,878	▲22	その他の流動負債	2,999	2,509	▲489
非流動資産	7,339	7,096	▲243	非流動負債	3,453	2,440	▲1,014
有形固定資産	2,600	2,495	▲105	社債および借入金	2,296	1,305	2 ▲991
無形資産	920	895	▲25	資本	7,572	7,031	▲541
のれん	1,803	1,712	▲91	自己資本比率	49.4%	51.4%	+2.0pt
資産 合計	15,342	13,666	1 ▲1,676	負債および資本合計	15,342	13,666	▲1,676

連結キャッシュフロー計算書

- 1 FCF：前期はエビデントの譲渡があったため、FCFは前年同期比で大きく減少しているものの、特殊要因を考慮した調整後FCF¹は393億円のプラス
- 2 財務CF：自己株式の取得による支出等や借入金の返済、配当金支払を主要因に、1,567億円のマイナス

第2四半期累計実績（4-9月）

		(単位：億円)		
		FY2024	FY2025	増減
継続事業	税引前利益	▲21	688	+709
	営業キャッシュフロー（営業CF）	▲118	937	+1,055
	投資キャッシュフロー（投資CF）	4,127	▲300	▲4,427
	フリーキャッシュフロー（FCF）	4,009	637	▲3,372
	調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	177	393	+216
	財務キャッシュフロー（財務CF）	▲1,254	▲1,567	▲313
	現金および現金同等物期末残高	4,882	2,459	▲2,423

2025年3月期 第2四半期累計（4-9月）の主な特殊要因

営業CF：エビデントの譲渡に関する法人税の還付	+290億円
営業CF：社外転進支援制度の引当金取崩しによる支出	▲18億円
営業CF：Veran Medical Technologies社の撤退に関わる支出	▲12億円
投資CF：投資有価証券の取得による支出	▲85億円
投資CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社、Arc Medical Design社等）	▲30億円
投資CF：整形外科事業の譲渡に伴う収入	+52億円
投資CF：買収解除に伴う買収対価の戻り	+47億円

2024年3月期 第2四半期累計（4-9月）の主な特殊要因

営業CF：エビデント株式譲渡益に伴う法人税の支払	▲567億円
投資CF：エビデント株式譲渡対価などの受領	+3,879億円
投資CF：エビデントに対する貸付金の回収	+520億円

¹「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」を調整

OLYMPUS

A thick, yellow, brushstroke-style underline that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

参考資料

開示の変更点

整形外科事業の譲渡に伴い、2025年3月期より、その他事業に含まれていた整形外科事業を非継続事業¹として開示「報告セグメント」²を内視鏡事業と治療機器事業の2区分に変更（国際会計基準）

2024年3月期



2025年3月期



☑ 「報告セグメント」として開示

☑ 今期見込まれる財務情報に金額的な重要性が低下するため、「報告セグメント」より除外

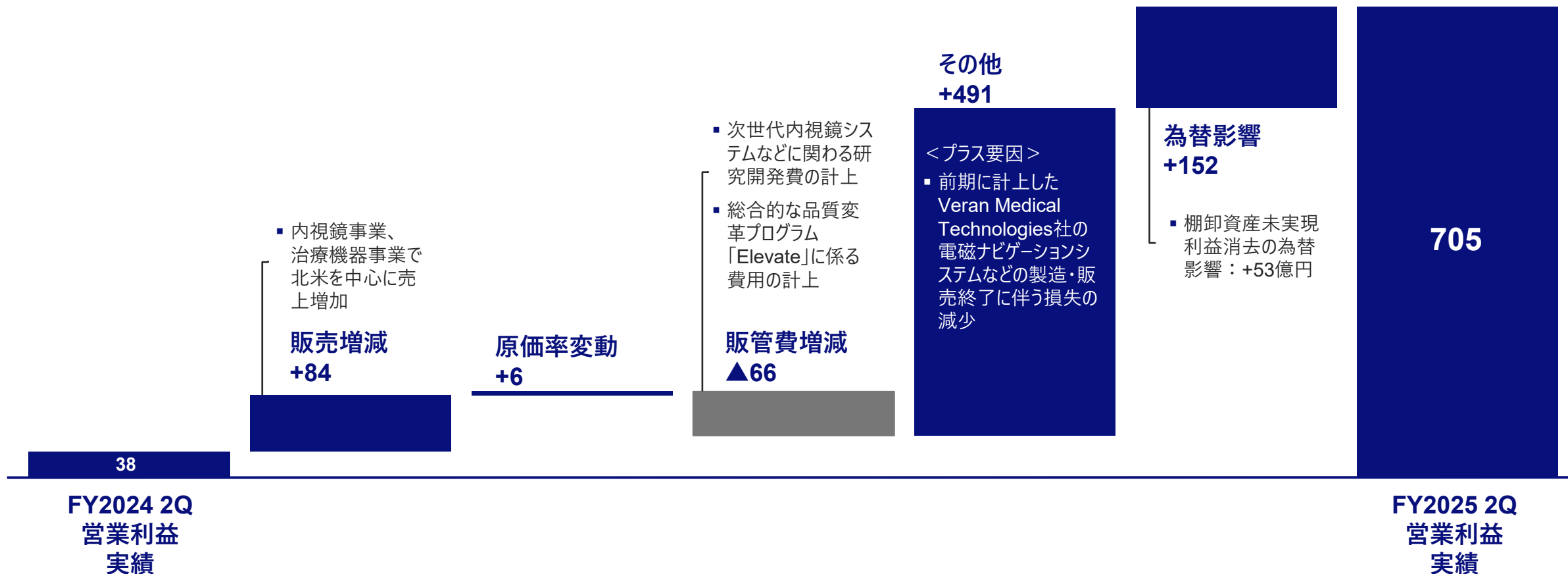
☑ 非継続事業からの当期利益(損失)を開示

¹ 当中間連結会計期間において、当社は、PTCJ-6Oホールディングス株式会社及びPTCJ-6Fホールディングス株式会社（ポラリス・キャピタル・グループ株式会社が設立した特別目的会社。以下「ポラリス・キャピタル・グループ」と総称します）に対して、オリンパステルモバイオマテリアル株式会社およびFH Ortho SAS社から構成される整形外科事業を譲渡することについて、ポラリス・キャピタル・グループとの間でプット・オプション契約を締結しました。これに伴い、当中間連結会計期間より、整形外科事業に関わる損益を非継続事業に分類しており、前中間連結会計期間についても同様の形で表示しています。なお、売上高、営業利益、調整後営業利益、税引前中間利益、継続事業からの中間利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額を、中間利益及び親会社の所有者に帰属する中間利益については、継続事業及び非継続事業を合算した数値を表示しています。なお、上記のプット・オプション契約に基づき、整形外科事業については、2024年7月12日に譲渡を完了しました

² IFRS8.5-10「事業セグメント」の要件を満たすセグメントの内、集約基準(IFRS8.12)、量的基準(IFRS8.13)を考慮して決定されたセグメントを指します。これらの基準に基づき、当社グループは、従来「内視鏡事業」「治療機器事業」及び「その他事業」の3区分を報告セグメントとしていましたが、当中間連結会計期間より報告セグメントを「内視鏡事業」及び「治療機器事業」の2区分に変更しており、前中間連結会計期間についても同様の形で表示しています

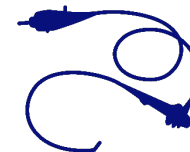
2025年3月期 第2四半期累計実績 連結営業利益増減要因

第2四半期累計実績 (4-9月)



(単位：億円) * 本スライドでは継続事業の金額を表示しています。また、「その他」には、決算短信に記載の「持分法による投資損益」、「その他収益」、「その他費用」が含まれています

プロダクトパイプライン：内視鏡事業 (2024年11月8日時点)



☑ 2025年3月期の内視鏡事業における重点施策

- グローバルにおいて、消化器内視鏡システム「EVIS X1」の更なる拡販に注力
- キヤノンメディカルシステムズとの協業により、次世代超音波内視鏡システムを市場に提供。欧州、日本、アジア・オセアニアを皮切りにグローバル展開を見込む
- 新興国の市場ポテンシャルを最大化
- 外科内視鏡システム「VISERA ELITE III」の米国（2025年3月期末）及び中国（2026年3月期）での導入を目指し、市場競争力の向上を図る
- インテリジェント内視鏡医療エコシステムのコンセプト及び一部関連製品を欧州で展開予定

2025年3月期
売上高成長率（見通し）

10%

円ベース

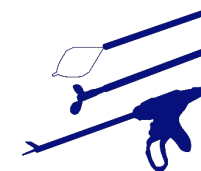
6%

為替影響調整後

現在の主力製品	直近の新製品 / 発売予定の製品	中長期のパイプライン
消化器内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> ▪ EVIS X1 ▪ EVIS EXERA III（米国、欧州） ▪ EVIS LUCERA ELITE（中国） ▪ EU-ME3（欧州、日本、アジア・オセアニア） 外科内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> ▪ VISERA ELITE II 2D/3D/IR機能（米国、中国） ▪ VISERA 4K UHD（米国、中国） ▪ VISERA ELITE III（欧州、日本、アジア・オセアニア） 	消化器内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 超音波画像診断装置Aplio i800 EUS（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア） ▪ EU-ME3（米国） 外科内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> ▪ VISERA ELITE III（米国） FOCUS AREA インテリジェント内視鏡医療エコシステム ¹ を初めて導入（欧州）	消化器内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> ▪ シングルコース十二指腸内視鏡 ▪ EU-ME3（中国） 外科内視鏡 <ul style="list-style-type: none"> ▪ VISERA ELITE III（中国） FOCUS AREA インテリジェント内視鏡医療エコシステム ¹

¹ 開示上、インテリジェント内視鏡医療エコシステムの業績は外科内視鏡に分類されます 注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

プロダクトパイプライン：治療機器事業 (2024年11月8日時点)



✓ 2025年3月期の治療機器事業における重点施策

消化器科処置具

- ERCP、ESD、メタルステント、止血デバイス など主要カテゴリーにおいて、臨床的に差別化された製品ポートフォリオを拡充

泌尿器科

- 主力製品の経尿道的切除術をサポートするTURisシステムの売上および利益の拡大に加えて、iTindの市場開拓を通じて前立腺肥大の分野で業界をリード
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System により、結石破砕治療における成長を拡大

呼吸器科

- 肺がん分野において、最新のEBUS-TBNAに一層注力
- 「EVIS X1」プラットフォームの導入促進を継続し、気管支鏡の強みを強化

2025年3月期
売上高成長率 (見通し)

8%

円ベース

4%

為替影響調整後

現在の主力製品

消化器科処置具

- Visiglide
- ESD Knife
- EndoJaw

泌尿器科

- レゼクト電極、ESG-410
- トリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System (米国、欧州、アジア・オセアニア)

呼吸器科

- シングルユース気管支鏡 (米国)
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ViziShot
- スパイレーションバルブシステム
- EVIS X1 気管支鏡 (日本、欧州、アジア・オセアニア)

直近の新製品 / 発売予定の製品

消化器科処置具

- 3製品 (米国)
- 3製品 (欧州)
- 1製品 (日本)
- 2製品 (中国)

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡 (米国、アジア・オセアニア、日本)
- SOLTIVE SuperPulsed Laser System (日本)
- iTind (米国、欧州、アジア・オセアニア)
- 4Kカメラヘッド (米国、欧州、アジア・オセアニア、日本)
- VISERA S (米国、欧州、アジア・オセアニア、日本)
- レゼクト電極 (中国)
- 硬性尿管鏡 (中国)

呼吸器科

- 新超音波気管支鏡 (米国、中国)
- EVIS X1 気管支鏡 (米国)
- 超音波プロセッサ (欧州、日本、アジア・オセアニア)

中長期のパイプライン

消化器科処置具

- シングルユース胆道鏡
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針
- 新止血クリップ

泌尿器科

- 膀胱鏡
- レーザーシステム

呼吸器科

- 細径超音波気管支鏡
- EVIS X1 気管支鏡 (中国)

注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

2025年3月期 四半期実績 連結業績概況

四半期実績（7-9月）

	FY2024 2Q			FY2024 1Q			FY2025 1Q			FY2025 2Q		
	(単位：億円)		前期比			1Q vs 2Q					1Q vs 2Q	
売上高	2,266	2,392	+6%	2,050	2,266	+11%	2,348	2,392	+2%			
売上総利益 (売上総利益率)	1,497 (66.0%)	1,668 (69.7%)	+11% (+3.7%)	1,356 (66.1%)	1,497 (66.0%)	+10% (▲0.1%)	1,562 (66.5%)	1,668 (69.7%)	+7% (+3.2%)			
販売費および一般管理費 (販売費および一般管理費率)	1,114 (49.2%)	1,191 (49.8%)	+7% (+0.6%)	1,071 (52.3%)	1,114 (49.2%)	+4% (▲3.0%)	1,188 (50.6%)	1,191 (49.8%)	0% (▲0.7%)			
その他の収益および費用など	▲571	▲46	-	▲58	▲571	-	▲99	▲46	-			
営業利益 (営業利益率)	▲189 (-)	431 (18.0%)	- (-)	226 (11.0%)	▲189 (-)	- (-)	275 (11.7%)	431 (18.0%)	+57% (+6.3%)			
調整後営業利益 (調整後営業利益率)	382 (16.9%)	478 (20.0%)	+25% (+3.1%)	283 (13.8%)	382 (16.9%)	+35% (+3.1%)	372 (15.9%)	478 (20.0%)	+28% (+4.1%)			
税引前利益 (税引前利益率)	▲219 (-)	424 (17.7%)	- (-)	198 (9.7%)	▲219 (-)	- (-)	264 (11.2%)	424 (17.7%)	+61% (+6.5%)			
当期利益	▲240	344	-	2,406	▲240	-	146	344	+136%			
親会社の所有者に帰属する当期利益	▲243	344	-	2,406	▲243	-	146	344	+136%			

¹「売上高」から「継続事業からの当期利益」までの数値は、継続事業の数値を記載

2025年3月期 第2四半期累計実績 その他の収益および費用

第2四半期累計実績（4-9月）

(単位：億円)		FY2024	FY2025	増減
その他の収益		14	29	+15
主な収益科目		<ul style="list-style-type: none"> 和解に伴う、中国生産子会社に対する訴訟の引当金の戻入13（全社・消去） 		
その他の費用		642	174	▲467
主な費用科目		<ul style="list-style-type: none"> Veran Medical Technologies社関連損失 496（治療機器） FDA関連対応費用¹ 119（内視鏡、治療機器） 総合的な品質変革プログラム「Elevate」に係る一時的な費用 110（内視鏡、治療機器） 社外転進支援制度の実施に伴う特別支援金等の費用 28（内視鏡、治療機器、全社・消去） 		

¹ 現在は総合的な品質変革プログラム「Elevate」に係る一時的な費用としています * 本スライドでは継続事業の金額を表示しています

キャピタルアロケーション

方針

- ✓ 成長ドライバーへの優先的な投資
- ✓ 安定的かつ段階的な増配
- ✓ 機動的な自己株式の取得

FY2025

- ✓ 注力3領域への積極的な投資
- ✓ 年間配当は2円増の20円を予定
- ✓ 1,000億円の自己株式の取得を実行中（10月末実績：累計約798億円）



成長ドライバーへの投資

優先

- 収益性の高い既存事業への投資
- 成長機会への戦略的な投資

株主還元

配当

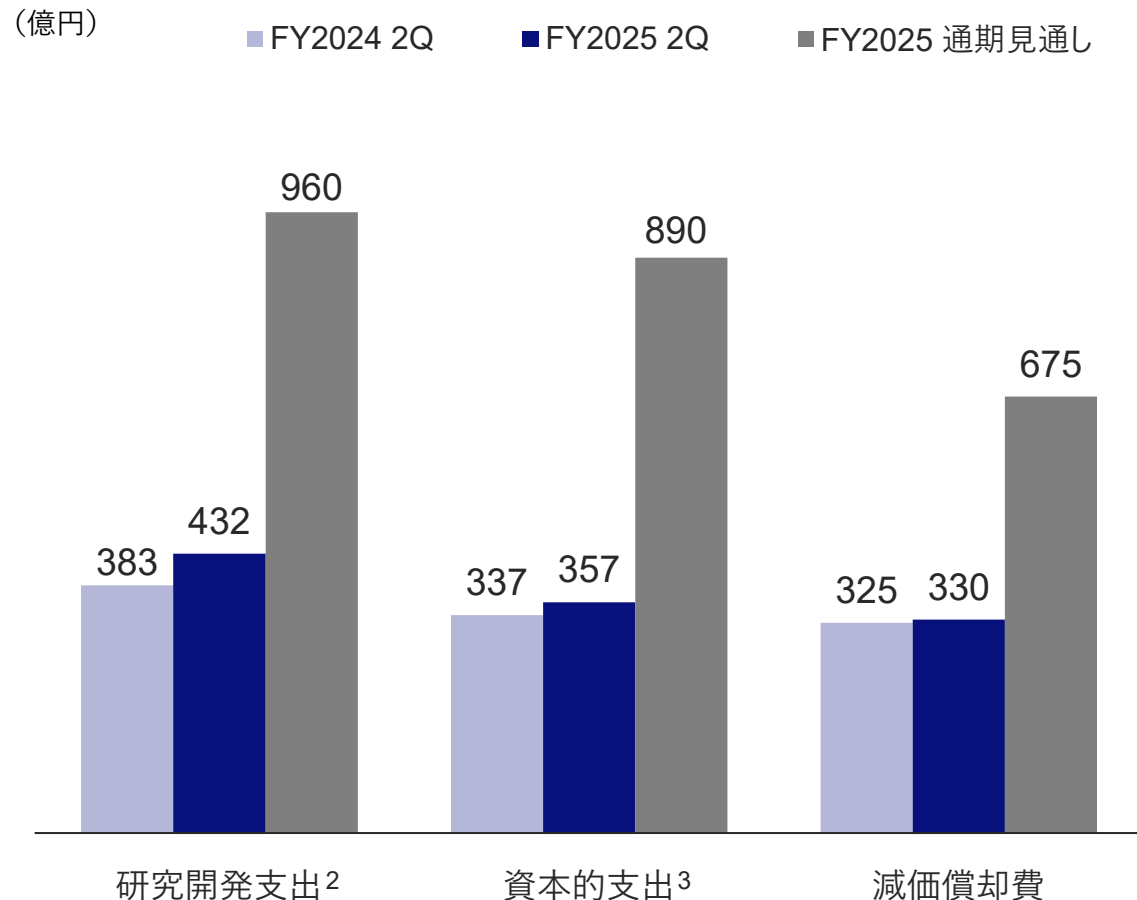
中長期的な業績を考慮しながら、安定的かつ段階的に増配

自己株式取得

投資機会と資金状況に応じて、機動的に自己株式の取得を実施

投資実績推移および2025年3月期 通期見通し

第2四半期累計実績（4-9月）および通期見通し¹



(単位：億円)

	FY2024	FY2025
研究開発支出 ² (a)	383	432
開発費資産化 (b)	60	69
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	323	363

(単位：億円)

	FY2024	FY2025
償却費	42	39
	2024年6月末	2024年9月末
開発資産残高	622	600

¹ 本スライドでは継続事業の金額を表示しています

² 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています

³ 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用权資産が含まれています。(FY2024 2Q：69億円、FY2025 2Q：80億円、FY2025通期見通し：140億円)

為替レート及び為替感応度

通期見通しの前提となる為替レートは変更無し

為替

(単位：円)	FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2025 1Q	FY2025 2Q	FY2025 見通し
円／ドル	137.37	144.62	155.88	149.38	151
円／ユーロ	149.47	157.30	167.88	164.01	163
円／人民元	19.56	19.94	21.48	20.82	21

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	26	5
ユーロ（1円あたり）	16	5
人民元（1円あたり）	52	27

*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY2024Q4実績より算出しています

略語集

略語	英語	日本語
BPH	Benign Prostatic Hyperplasia	前立腺肥大症
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術

2025年3月期 四半期実績 リンク先

☑ 2025年3月期 四半期実績（7-9月）は決算参考資料よりご確認ください

項目	URL
連結決算概要	https://www.olympus.co.jp/ir/data/brief/pdf/02_data_Q2FY2025_jp.pdf#page=2
セグメント別情報-医療・ESD・TSD	https://www.olympus.co.jp/ir/data/brief/pdf/02_data_Q2FY2025_jp.pdf#page=3
セグメント別情報-全社消去	
投資他	https://www.olympus.co.jp/ir/data/brief/pdf/02_data_Q2FY2025_jp.pdf#page=6
連結キャッシュフロー計算書	